

陵水会総務・財務委員会報告

財務状況 → 恒常的に年間 200～300 万円の赤字体質

収入の部： 約 2,800 万円/年

- ① 新入生からの入会金収入 1,620 万円と会員の年会費収入 720 万円の計 2,340 万円。年会費納入率は 10%程度で長年の目標 2,500 名に達せず。(7 年平均 2,322 名)
- ② 駐車場収入(250 万円)、会報広告収入(144 万円)、雑収入 72 万円。

支出の部： 約 3,050 万円/年

- ① 陵水学術後援会への拠出金約 1,200 万円を通じて、後援会定款に沿った支援を実施。
→ 内、経費を除き年間 700 万円程度が大学への助成金として支出されている。
- ② 大学への間接的支援(就職支援、キャリアデザイン論他) 100 万円
- ③ Next Ryosui 活動費 120 万円
- ④ 会報発行費用 約 700 万円 ← 95 ページ、25,000 冊
- ⑤ 活動経費他(支部補助金、卒業祝賀会、旅費、会議、支払手数料、事務経費等)
約 930 万円

陵水会留学支援金特別会計の現状 → 7 年で枯渇

現在、繰越金が 1,700 万円あり、毎年 300 万円を海外留学生に奨学金として給付している。これを継続的に支援すると、6 年後には繰越金がなくなり、陵水会の財政は、年間 500～600 万円の赤字に陥る。留学生支援は円高や物価高を背景に、大学側の期待が大きい。

財務改善策 → 実現可能な対応を同時並行的に実施

- ① 年会費納入率の向上
→ 50 歳以下の納入率の向上(支部活動への誘導を通じて身近な存在に！)
→ 終身会員の導入(例えば 70 歳以上で 30,000 円一括払い)
- ② 年会費の値上げ
→ 1,000 円の値上げを検討(会報で窮状を訴えた上で、令和 8 年度から実施)
- ③ 駐車場代の値上げ → 近隣駐車場代との競合も考慮して実施
- ④ 会報広告収入増 → 広告主探しを会員にお願い
- ⑤ 寄附(目的別通年寄附のお願い。寄付先は公益財団法人陵水学術後援会とする。)
→ 例えば、留学生支援を目的とした通年寄附のお願い。
→ 遺贈の依頼と税務上の手続きサポート(現金、上場企業の株式など)
→ 累積寄附金額によって表彰制度を設ける(例えば累計 5 万円以上、10 万円以上、20 万円以上、50 万円以上)。会報で報告し、感謝状と記念品を贈呈す

る。

- ⑥ 大学側と支援の中身を議論し、陵水学術後援会の支出の中身を精査（定款との整合性は確保）→ お金のかからない支援に注力（共同研究相手企業の紹介等）
- ⑦ 学生保護者組織である滋賀大学後援会と連携して支出の重複があれば軽減
- ⑧ 大学に共同研究先の企業を紹介し、企業から研究助成金が出たら、一部を紹介手数料として大学側から陵水会に戻入してもらう。→ 大学側との契約が必要
- ⑨ 長期的には、HP を充実させる一方、会報の規模（ページ数）を大幅に縮小する。
 - 会報と HP の二本立てとして、原則、会報は存続する。
 - HP の充実には費用がかかるので HP 関係の経費増も考慮する。
（本部 HP のサーバーを移動、支部 HP との合体・連携など）
- ⑩ 将来的には、会報の送付先を限定する事も検討。
 - 大学によっては、2 年以上の会費未払いで、会報送付停止。

【参考】

如水会（ジョスイカイ）

一橋大学(旧東京高商)の同窓会。一般社団法人

会員数：34,854 名(令和 5 年 6 月)

年会費：6,500 円(東京都に在住あるいは勤務している会員)

4,000 円(それ以外の会員)

卒業後 2 年間は 2,000 円

一括払い制度がある。

(1) 終身会員：15 万円

(2) 満 60 歳以上の終身会員：5 万円

入会金：1 口以上（1 口 1,000 円）

- 全会員にクレジット機能(DC)が付いた会員カードを配布し、毎年 6 月に自動引落としで徴収する。カードは、如水会館での飲食で使用出来、割引やポイントも得られる。
- 支払率 65%

会報：8 月を除く毎月発行(年 11 回)。オンラインでの配信も平行して実施

会報の中身は、会員からの投稿がほとんど。内容については、投稿内容審議規定に照らして審議される。

同窓会の収支(令和 5 年総会資料)： 1 億円以上の黒字経営

収入の多角化：

如水会は、一橋に如水会館(貸店舗、宴会場、レストラン等)を経営しており、この収益が 10 億 5 千万円にも上る。広告収入は、1,100 万円。

緑丘会(リョッキョウカイ)

小樽商科大学(旧小樽高商)の同窓会。公益社団法人

1911 年(明治 44 年)に同窓会として創立。

会員数：4,228 名(正会員)

1,692 名(賛助会員)

年会費：4 千円(正会員)

会員資格：会費支払い義務を2年以上履行しなかった場合は会員資格を喪失する。

会報：郵送

収支状況： 若干の黒字

収入の多様化：

- ① 正会員の会費：1,370 万円（支払率 81%）
- ② 賛助会員の会費：500 万円
- ③ 基本財産運用益：58 万円
- ④ 広告代：140 万円
- ⑤ 企業向け収益：1,890 万円 ←企業向け就職説明会を大学と実施
- ⑥ 通年寄附

有恒会（ユウコウカイ）

大阪公立大学（大阪市立大学、府立大学）の同窓会。 一般社団法人

会員数：53,655 名(2024 年 3 月時点)

入会金：なし

年会費：5,000 円（卒業後 6 年以降）

5 か年分の前納 22,500 円、終身会費 100,000 円

在学生（在学期間中）10,000 円＋（5 年間の会費）20,000 円

会報：あり（年 2 回発行）

瓊林会（ケイリンカイ）

長崎大学経済学部(旧長崎高商)の同窓会。 公益社団法人

会員数：約 1 万 8 千人

年会費：3,000 円（支払率 10%）

会員資格：会費の支払義務を 2 年以上履行しなかったときは会員資格の喪失

会報：郵送。2 年以上の会費滞納者には会報送付停止。HP には目次のみ記載。

同窓会の収支：赤字

収入の多様化：

- ① 会費：551 万円
- ② 賃貸料年間 440 万円。（女子専用マンション 12 室、月 2 万 9 千円を所有）
- ③ 広告収入 80 万円。

鳳陽会（ホウヨウカイ）

山口大学経済学部(旧山口高商)の同窓会。一般社団法人

会員数：約 2 万人

入会金：2 万円

年会費：3 千円

年会費支払者は 1,136 名（支払率約 6%）

会員資格：入会金及び年会費を 1 年以上滞納した時は正会員の資格を失うものとする

会報：年会費・入会金を払った 2,283 人にのみ送付。

同窓会の収支： 赤字

収入の多様化：

- ① 会費：341 万円
- ② 入会金：640 万円
- ③ 広告：30 万円
- ④ 特定資産運用益：280 万円
- ⑤ 雑収入：460 万円 ← 詳細不明

越嶺会(エツリョウカイ)

富山大学(旧高岡高商)の同窓会。任意団体

会員数：不明

入会金：5,000 円

終身会費：15,000 円

年会費：なし。(入会金・終身会費のみで運営)

会報：随時、会報発行協力金を設けて、会員から必要資金を徴収して発行。

柑芦会(カンロカイ)

和歌山大学(旧和歌山高商)の同窓会。任意団体

会員数：不明

入会金：23,000 円

年会費：なし

本部は、学生が入学時に納める入会金のみで運営。但し、各支部は、個別に年会費を徴収。金額は支部によって異なる。

会報：あり。

本部財政が悪化する中、支部の年会費の統一や、コンビニ振込導入で支部収入を増加・安定化させ、本部でも年会費を徴収すべきという議論がある。

信陵同窓会(シンリョウトウソウカイ)

福島大学(旧福島高商)の同窓会。任意団体

会員数：約 2 万人(在学生は準会員)

年会費：2,000 円

入会金：30,000 円

会報：年 2 回送付。(4 月は学生、8 月は全会員が対象)

九州大学校友会(キュウシュウウダイガクコウユウカイ)

九州大学経済学部の同窓会。

会員数：8,389 名

会費：終身会員 45,000 円 (一括、3 分割、6 分割払いの選択)

普通会員 3 年に一度 4,500 円。(11 回目の支払時から終身会員に移行)

会報：あり(年 2 回)

青松会（セイショウカイ）

新潟大学人文・法・経済科学部同窓会

年会費： 2,000 円

入会金： 20,000 円

会報： あり

新潟大学クレジットカード有り

横浜国立大学校友会（コウユウカイ）

会員数： 26,700 名

会報： あり

年会費： なし

収支：収入は新入生入会費のみ。年間 3,000 万円程度。

費用は大学支援・広報で 2,200 万円、事務管理費で 700 万円、収支トントン。

富丘会（フキユウカイ）

横浜国立大学社会科学系の同窓会 一般財団法人

会員数： 不明

年会費： 5,000 円

卒業生終身会費： 60,000 円

- ・ 入会時に、年会費 10 年分： 30,000 円（入会后 10 年以内に、終身会費後期分 30,000 円を支払う場合終身会費前期分とする）
- ・ 大学卒業までに終身会費後期分を支払う場合、終身会費後期分は 20,000 円とする（終身会費は計 50,000 円）

入会金： なし

会報： あり（年 2 回発行）